

9兆円の軍事費はムダ、物価とくらし対策へ回せ！

憲法9条を生かし、くらしを守り抜く日本共産党

今の自・維政治、本当に大丈夫か？

＊「覚書」には合意したものの、再び戦争状況と混迷を深めるイラン情勢、原油高騰など日本への影響は深刻です。

アメリカトランプ大統領への怒りと非難は世界で高まっているのにアメリカ言いなりの高市政権、これでいいのでしょうか？

＊「攻撃型ミサイル」の配備、武器輸出の全面解禁、「非核三原則」の見直し、9条改憲など高市政権は、次々と日本の戦争する国づくりを進めています。平和を守る国民の運動を広げましょう。

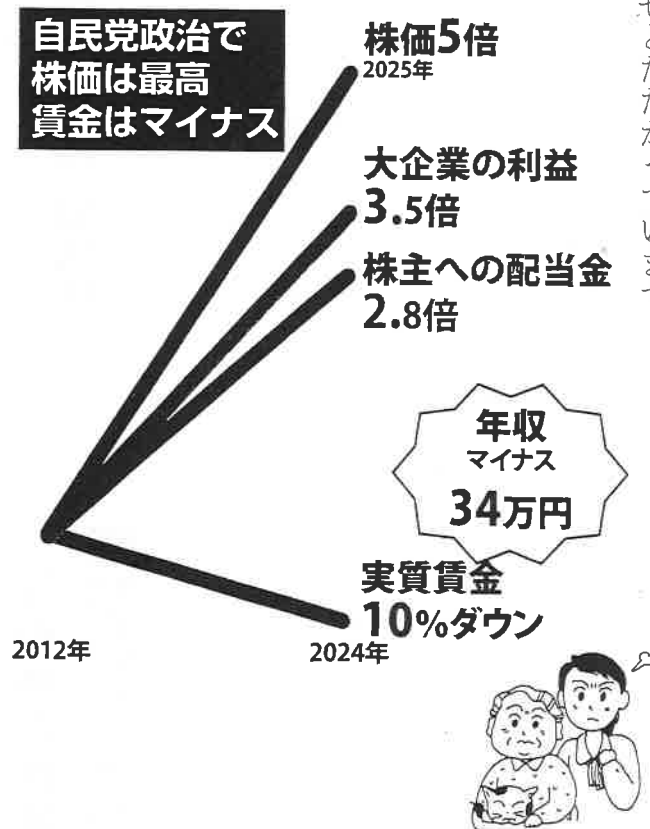
大企業の利益莫大、くらしは悲鳴

＊止まらない物価高騰でくらしは悲鳴をあげています。その国民のくらしをよそに、株価や大企業の利益、株主への配当は左表のようにながのぼり、実質賃金は下がり続けています。

こんな経済とくらしはごめんです。

日本共産党は軍事費や大企業の大利益を賃上げと暮らしにまわせとたたかっています。

自民党政治で
株価は最高
賃金はマイナス



6月7日 神戸町長選挙 藤井弘之氏が再選果たす

6月7日行われた神戸町町長選挙で、藤井弘之氏が伊藤あゆみ氏に大差を付けて勝利し再選を果たしました。

藤井氏は、6月議会の冒頭であいさつに立ち、「人口減少対策」「子育て支援策」「フレイル予防など高齢者対策」など第6次総合計画の着実な推進をめざしていきたいと表明。

さらに企業誘致を進めるとともに、まちかど防犯カメラ、養老鉄道の存続など社会基盤と住環境の整備や環境対策も積極的に展開していきたいと抱負を語りました。



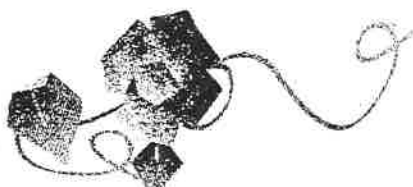
来年4月の町議選予定候補に 鈴木愛子氏（現職）を発表

日本共産党西濃地区委員会は、来年4月に予定される神戸町議会議員選挙に、現職の鈴木愛子氏を擁立すると発表しました。鈴木愛子氏は現在8期目を努めており、9期目をめざします。

鈴木氏は、何よりも物価対策と生活支援、そして子育て支援、高齢者対策に引き続き頑張ると語っています。

【プロフィール】

- ＊大垣市林町生まれ。大垣北小・中・養老女子高卒
- ＊西濃運輸、丸善薬局などで働く
- ＊議会副議長、各常任委員長など歴任
- ＊現在、党西濃地区委員、神戸北副支部長 家族 夫（栄代）



「核兵器禁止条約」の署名が世界100カ国に！

被爆国・日本は未だ署名せず！

核兵器使用の懸念が広がる中で、これを認めない運動が世界で広がっています。

国連で採択した「核兵器禁止条約」に加盟し、締結・署名国は7月7日トンガが加盟して100カ国になりました。

しかし唯一の被爆国である日本は、未だこの条約に署名しておらず、日本共産党や日本被団協などの粘り強い運動が続いています。

今年も神戸町「平和行進」

世界からの「核兵器廃絶」は人類の悲願です。

8月の原水爆禁止世界大会に向けた平和行進が今年も6月15日、神戸町を歩きました。

出迎えた町役場前では、藤井町長、金指副町長、岡田教育長、宮嶋健太郎議長らが、核兵器禁止の意義を述べ激励のあいさつを行いました。

長崎から参加している被爆二世の通し行進者の方は、歓迎へのお礼とともに、世界からの核兵器廃絶の悲願の思いを訴えました。

鈴木あい子議員が集会の司会を務めました。（下写真・役場前歓迎集会）

平和写真展にぜひ！

◎8月3日～6日 役場ロビー

◎8月7日～18日 町図書館

6月定例町議会報告 照明のLED化、クマ対策で質問

鈴木あい子議員

神戸町6月議会が、15日～25日の日程で開かれ、一般質問には小川議員、鈴木議員の2名が立ちました。

鈴木あい子議員は・

- ①2027年問題（家電やエアコンの省エネ基準引き上げ問題）への対応と補助
- ②クマ対策の2点について見解を求め提言を行いました。

消費者負担の軽減はできないか？

地球温暖化対策としての二酸化炭素排出量の削減をめざす「省エネ基準の引き上げ」が2027年4月



から始まり、家電やエアコンの製造・販売内容が変わり、消費者にとっては買い換えなどの際に、負担が増えることになります。

鈴木議員は、神戸町の公共施設などのエアコンや照明の切り替えの現状と地域の公民館の照明器具や一般家庭への切り替えに対する補助制度の提案を行いました。

《答弁》

藤井弘之町長は、公共施設の照明LED化は6割で終了し、順次進めていくとし、地域の公民館や一般家庭の照明器具やエアコンの切り替えの補助については、今後の国の動向を注視しつつ、他市町の状況を見ながら検討課題としたいと答弁しました。

神戸町の「クマ対策」は大丈夫か？

全国的に広がるクマ被害と近隣する大垣、池田、揖斐川、大野などの市町でも目撃が相次いでいる状況を踏まえ、鈴木議員は「町の対策」を求めました。

《答弁》

藤井町長は、県内での出没件数は令和7年度1100件で、今年度はこれを上回るペースで出没していると紹介。神戸町でも山に面していないが対策は必要とし、国の法律による指導を踏まえ、「緊急銃猟対応マニュアル」を作成しており、今後町民の安全・安心を第一に関係機関と連携して、迅速かつ適切に対応していきたいと答弁しました。

